

## 2016第九指揮者レッスン注意点まとめ

### ・全体を通じて

fを強く歌いすぎない・辛く苦しい音にならないように(ffが美しい音で歌えるような強さのfで歌う)。  
いままでの練習に比べてかなり落ち着いたテンポなので、走らないように。

- 237～330 四拍子を感じて歌う(四分音符1つ1つを意識して)。  
238 歌い出しのブレスは時間をかけて準備する(四分音符2つくらい)。  
Freude “r”をしっかり巻いて de の音が消えてしまわないように。  
257～ “b”indenと“w”ieder の発音をしっかり歌い分ける。  
260 Alle Menschen 言葉の意味をもっと感じて。  
313～330 地に足を付けたような歌い方で歌う。  
313 心の準備をして歌い出す(二拍で息を吸うくらいの準備を)。  
Küsse “Kü”の発音をしっかり。  
321～323 拍子を感じられるように音を1つ1つ歌う(流さない)。  
330 G“o”tt アではなくオに聴こえるように歌う。  
411 テンポは M(543)と同じくゆっくり。  
424～426 3回の Freudig を歌い分ける(1回目→2回目→3回目と盛り上がって)。  
541 この部分から空気感を変えて(歌い出しの準備をする)。  
543 歌い出しは f ひとつ  
543～590 二拍子ではなくて六拍子(八分音符のリズムを感じて)。  
sf と f をしっかり歌い分ける。  
595～602 男らしく テンポがすべらないように、重みを持って  
603～609 心地良く(男らしくの真逆、602 三拍目からのオケの音色を良く感じて)、  
ただし、ドイツ人的な感動(まじめ?おごそか?)。  
603 女声、歌い出しの二拍で cresc.しない(歌い出してから声量を盛り上げない)。  
631 Ihr Stürzt リズムを正確に(指揮者の振りをしっかり見る)。  
632 スタッカートを短く切りすぎないように(二分音符のスタッカート)。  
635 pp なし(633～638 まで一続きの cresc.)  
650 pp 繊細に気を使って出す(大きくならないように、木管楽器の音を聴いて)。  
651～654 テナー、cis の音を高めに歌う(音程がぶら下がらない)。  
655～762 六拍子(四分音符を感じて)、テンポ走らない。  
730～744 六拍目の四分音符が短くならないように。  
759～762 強弱を正確に(p → più p → pp)

810~813 poco adagio 表情豊かに(遅くなりすぎない。良く指揮を見る)。

810 Menschen の強弱表現を丁寧に行う(men は p でない)。

916 aus の後 ブレスで音がぶつ切りにならないように。

917~919 いそがない(良く指揮を見る)。

#### ※旧ブライトコプフ版との差異(オーケストラ部分とカンマ等の表記違いは省略)

- ・313 小節頭に f あり ・316 4 拍目から 317 小節 1 拍目にかけてスラー
- ・324 アルト、3 拍目の sf なし ・325 小節内の音符にスタッカートあり
- ・417 テナー I、バス、4 拍目から 6 拍目にかけてスラー ・428, 430 sf なし
- ・3 拍目 ff → sf ・597 3 拍目スタッカートなし ・600 1 拍目スタッカートなし
- ・601 ff なし ・604 バス 3 拍目から 605 小節 2 拍目にかけてスラー
- ・606 アルト、3 拍目 sf あり 3 拍目から 607 小節 2 拍目にかけてスラー
- ・615 sf なし ・618 スタッカートなし ・631 小節頭に p あり ・635 pp なし
- ・662 アルト、4 拍目に f あり テナー、ff → f ・669 ソプラノ、スラーなし
- ・677 アルト、1 拍目から 3 拍目と 4 拍目から 6 拍目にそれぞれスラー
- ・685 テナー、1 拍目から 6 拍目スラーなし
- ・698 ソプラノ、1 拍目から 699 小節 1 拍目 テナー、4 拍目から 700 小節 1 拍目にかけてそれぞれスラー
- ・699 アルト、sf なし バス、1 拍目から 700 小節 1 拍目にかけてスラー
- ・700 アルト、sf なし ソプラノ、4 拍目 ff あり
- ・702 バス、4 拍目 ff あり ・711 アルト、4 拍目から 6 拍目にかけてスラー
- ・715 ソプラノ、4 拍目 f あり ・716 ソプラノ、4 拍目から 717 小節にかけて sf → f
- ・724 テナー、4 拍目から 6 拍目にかけてスラー ・727 ソプラノ、小節頭に ff あり
- ・742 p なし ・753 アクセントなし zelt にデクレシェンドあり
- ・801 f なし ・802 1 拍目から 803 小節 1 拍目にかけてスラー
- ・803 ソプラノ、1 拍目裏にスタッカート ・812 ソプラノ、アルト、2 拍目 fis, a, に向けて 1 拍目からスラー
- ・823 1 拍目から 824 小節 1 拍目にかけてスラー
- ・872 ソプラノ、アルト、バス、1 拍目から 873 小節 1 拍目裏にかけてスラー
- ・891 2 拍目に f ・895 アルト、テナー、バス、1 拍目から 898 小節 1 拍目にかけてスラー
- ・897 バス、2 拍目裏タイなし
- ・899 2 拍目 ff なし アルト、テナー、バス、2 拍目から 902 小節 1 拍目にかけてスラー
- ・901 バス、2 拍目裏タイなし ・906 ff なし